

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース/日本円コース/ ブラジル・リアル・コース/通貨セレクト・コース 設定来の運用状況について

2015年4月2日

平素は、「通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)」各コースをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの設定後の運用状況(2015年2月19日～2015年3月24日)について、お知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

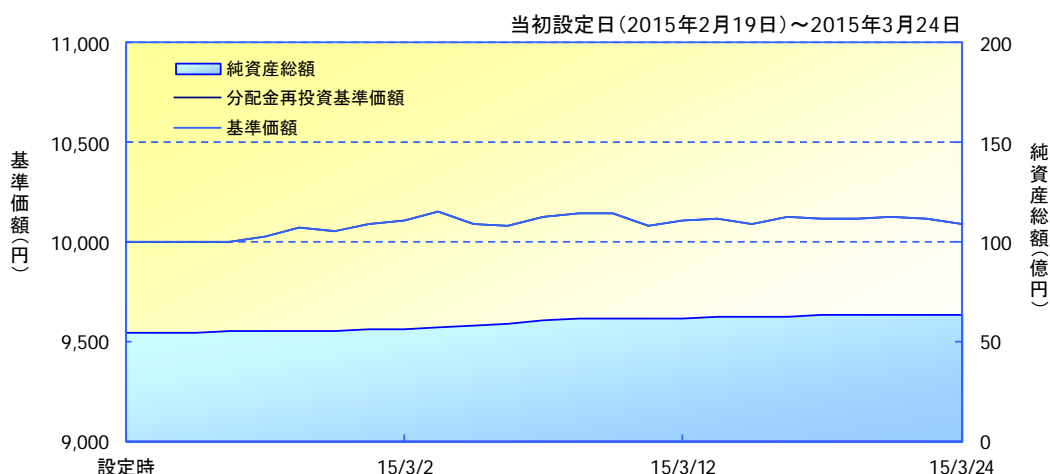
【為替ヘッジなしコース】

2015年3月24日現在

基準価額	10,087 円
純資産総額	63億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.6 %
3カ月間	-----
6カ月間	-----
設定来	+0.9 %



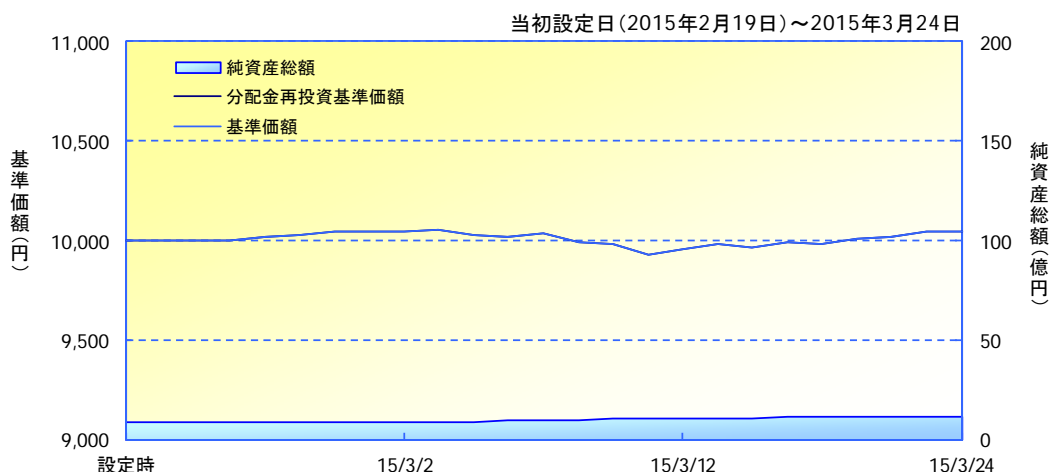
【日本円コース】

2015年3月24日現在

基準価額	10,041 円
純資産総額	11億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.3 %
3カ月間	-----
6カ月間	-----
設定来	+0.4 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

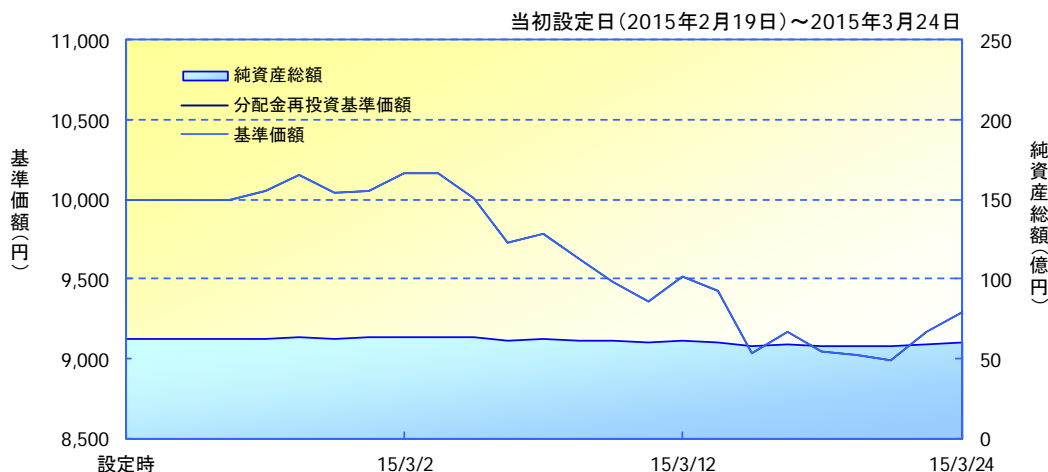
【ブラジル・リアル・コース】

2015年3月24日現在

基準価額	9,295 円
純資産総額	60億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-7.6 %
3カ月間	----
6カ月間	----
設定来	-7.1 %



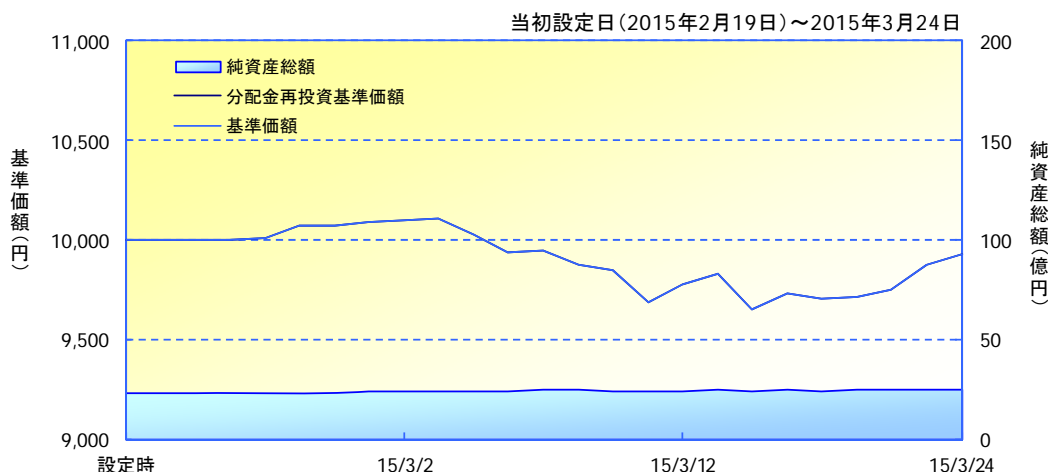
【通貨セレクト・コース】

2015年3月24日現在

基準価額	9,930 円
純資産総額	25億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-0.8 %
3カ月間	----
6カ月間	----
設定来	-0.7 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《参考》設定来の為替騰落率

当ファンドの基準価額に影響を与えた期間(2015年2月20日～2015年3月23日)において、新興国通貨の一部は、対円で軟調な推移が続いています。

特に、ブラジル・リアルについては、複数の悪材料が重なり、下落幅が相対的に大きくなっています。背景としては、政府当局のリアル安容認姿勢に対する思惑や、大手石油会社の格下げや汚職捜査がブラジルの金融市場に対する投資センチメントを低下させたことなどが挙げられます。また、ルセフ大統領が議会に提出した給与税引き上げ案などの緊縮財政策を上院議長が拒否したことなどから、財政健全化に向けた政府の取り組みに対する期待がやや後退したことも、リアルの下落要因となりました。

2015年2月20日～2015年3月23日における、米ドルおよびブラジル・リアルの対円での騰落率は、以下の通りとなっています。

	米ドル	ブラジル・リアル
2015年2月20日	118.76 円	41.32 円
2015年3月23日	119.77 円	37.89 円
変化	+1.01 円 +0.85%	▲3.43円 ▲8.30%

※為替の騰落率は、基準価額の動きに対応する、ロンドン時間16時のレートを元に算出しています。

※変化の数値は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(出所)ブルームバーグのデータを基に
大和投資信託作成

《マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンドのポートフォリオ概要》

※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

※以下のデータは、ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インクの提供データを基に大和投資信託が作成したものです。

ポートフォリオ特性値	
銘柄数	640

資産別構成		
	資産	比率
株式	カバードコール付き先進国株式	21.1%
	先進国株式	20.6%
債券	ハイ・イールド債券	26.0%
	投資適格社債	8.9%
非伝統的 高利回り資産	優先出資証券	10.4%
	その他の債券	12.6%
現金		0.4%
合計		100.0%

国・地域別構成		合計100.0%
国・地域名		比率
アメリカ		63.8%
イギリス		8.3%
フランス		4.6%
スイス		3.0%
オランダ		2.3%
ドイツ		2.1%
スペイン		1.4%
イタリア		1.1%
カナダ		1.0%
その他		12.4%

通貨別構成		合計100.0%
通貨		比率
米ドル		86.2%
英ポンド		4.5%
ユーロ		4.2%
スイス・フラン		2.7%
スウェーデン・クローネ		0.9%
カナダ・ドル		0.5%
日本円		0.4%
デンマーク・クローネ		0.3%
香港ドル		0.2%
その他		0.1%

※上記データは基準価額への反映を考慮し、現地前営業日のデータを記載しています。

※上記データは、ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インクの定義に基づきます。

※マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンドの正式名称は、ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンドです。

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

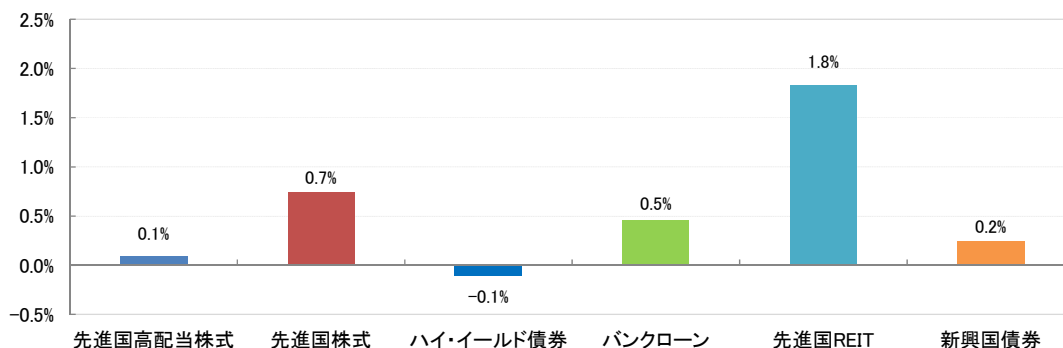
※以下のコメントは、ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インクのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

<市場環境>

米国の金融政策は引き締めが予想される一方、日本やユーロ圏では緩和的な金融政策の継続が見込まれるなど、各国の金融政策の方向性の違いが不透明感を強め、金融市場の変動性を高める要因になっています。緩和的な金融政策は債券などの利回り低下（価格は上昇）要因になる一方で、米国の金融引き締めは米ドル建て資産の利回り上昇リスクを高めます。

このような変動性の高まりは金融市場ですでに顕在化しており、当ファンド設定後の2月下旬以降の世界の金融市場では、高配当株式やハイ・イールド債券など一部の高利回り資産はやや出遅れる展開になっています。

（参考）各種資産の指数騰落率（2015年2月20日～2015年3月23日）



（参考）先進国株式の90日間ボラティリティの推移（2015年2月20日～2015年3月23日）



※「各種資産の指数騰落率」および「先進国株式の90日間ボラティリティの推移」で使用した指数等については、後述の「当資料で使用した指数等について」をご覧ください。

（出所）ブルームバーグ、トムソン・ロイター データストリーム、バークレイズのデータを基に大和投資信託作成

＜運用経過・戦略＞

このように高利回り資産における運用が決して容易ではない市場環境にあります。通貨選択による為替の影響を除いた、インカム・ハンター(ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド)本来の運用成果に最も近い日本円コースのパフォーマンスについては、プラスの収益を維持しています。

要因としては、相対的に良好なパフォーマンスであった米国優先出資証券への投資がプラスに寄与したほか、先進国株式の上値が重い中、カバードコール戦略でプレミアムを確保できたことが挙げられます。加えて、原油価格の下落による個人消費拡大の恩恵を狙える小売セクターのハイ・イールド債券への投資などもプラス要因となりました。特に、カバードコール戦略は、株式のボラティリティが拡大しオプションプレミアムが高くなったところを狙うなど、トータル・リターンの観点のみならず、利回り水準の引き上げにも寄与しており、ファンド名の通り、積極的かつ機動的に『インカムをハントする』ことを目指しています。

通貨セレクト・コースにつきましては、金利水準やリスク水準などを勘案し、3月24日時点で、インド・ルピー、ブラジル・レアル、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ニュージーランド・ドル、メキシコ・ペソの6通貨を選定し、運用しています。また、取引対象通貨合計の比率はおおむね100%となっています。

＜市場見通しおよび今後の運用方針＞

ここも数年にわたり金融市場のボラティリティは過去の平均的な水準よりも低く抑えられてきましたが、今後はそれまでの平均に近づく形で上昇していく可能性があると考えています。また、金融市場のボラティリティが上昇する中では、市場の流動性、とりわけ信用市場の流動性が枯渇する可能性について、今後のポートフォリオの構築においてリスク要因として考慮すべきポイントと考えます。このような環境において、伝統的な債券、株式といった投資対象のみならず幅広いインカム性資産に目を向け、分散されたポートフォリオの構築を目指して当ファンドの運用を行っていくことが重要であると考えます。

足元で注目している資産は以下の通りです。

ハイ・イールド債券では、原油価格下落を受けてエネルギー関連企業の債券は避けるものの、ガソリンなどのエネルギー関連への支出低下により裁量的な消費支出の拡大が見込めることから、小売業など原油価格下落の恩恵を受ける銘柄への投資機会を狙っています。非伝統的高利回り資産では、固定利付債券よりもインカム水準が高く、潜在的な金利リスクが低い優先出資証券に注目しています。また、ノンエージェンシーMBS(政府関連機関の保証が付かないMBS)などの証券化クレジット証券は、約3～6%の利回り水準で魅力的なインカムが得られるため、金利リスクや期限前償還リスク、クレジットリスクを適切に管理することで魅力的な投資対象になると考えます。株式では、米国の利上げが近づきつつあることから株式市場の変動性の高まりが予想されますが、株価の上値をインカム収入として取り込むカバードコール戦略を有効に活用しながら、株価の上昇も狙っていく方針です。

今後も利回りの確保を目指しながら、リスクを考慮するとともにトータル・リターンの向上を目指す方針です。

以上

当資料で使用した指数等について

※先進国高配当株式:MSCIワールド高配当株式インデックス、先進国株式:MSCIワールド・インデックス、ハイ・イールド債券:パークレイズ米国ハイ・イールド社債インデックス2% Issuer Cap、バンクローン:クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス、先進国REIT:S&P先進国REIT指数、新興国債券:パークレイズ新興国債券インデックス を使用しています。

※上記の指数はすべて、トータル・リターン、米ドルベースです。

※先進国株式の90日間ボラティリティは、MSCIワールド・インデックス(プライス・リターン、米ドルベース)を基にブルームバーグが算出したものを使用しています。

※MSCIインデックスはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※パークレイズ・インデックスは、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび関連会社(パークレイズ)が開発、算出、公表を行うインデックスであり、当該インデックスに関する知的財産権およびその他一切の権利はパークレイズに帰属します。

※S&P先進国REIT指数は、S&P Dow Jones Indices LLCの登録商標です。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

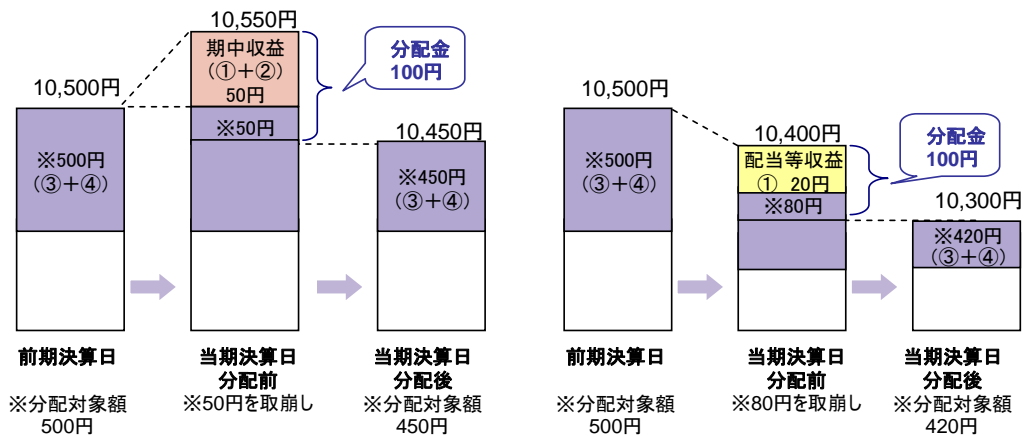


- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合

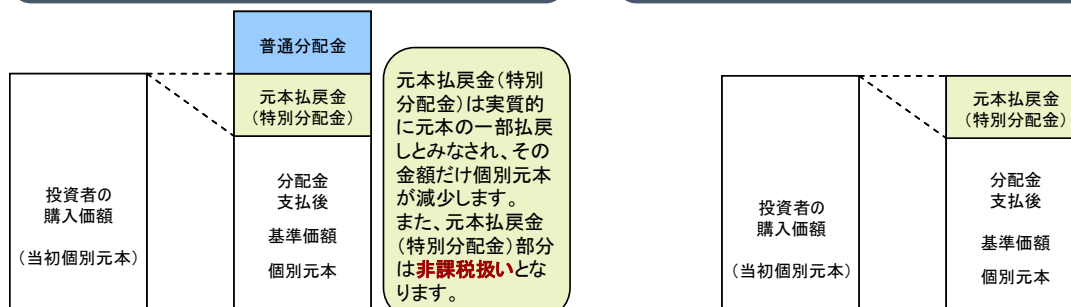


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



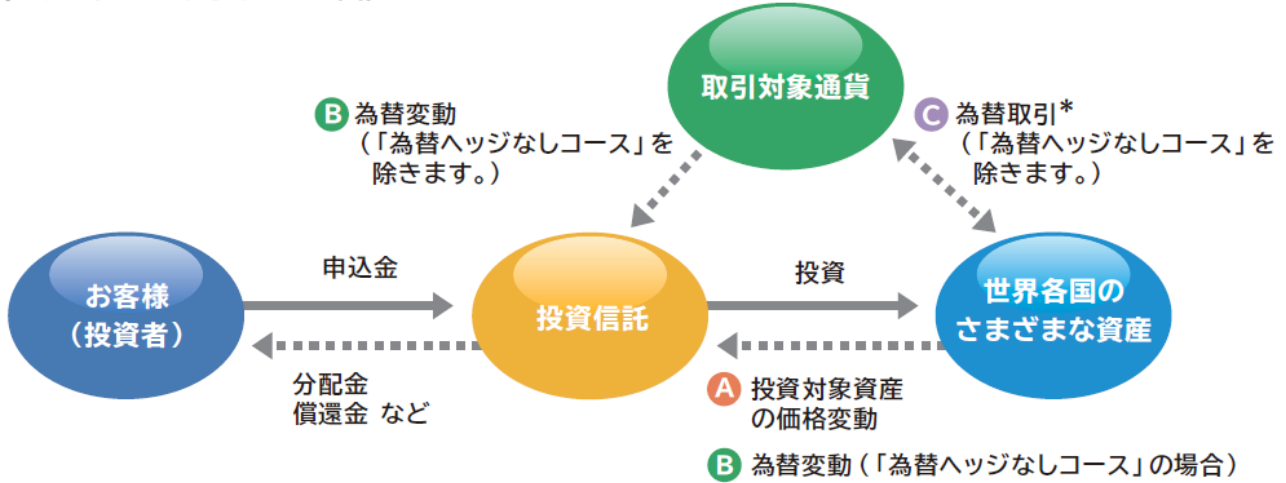
普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

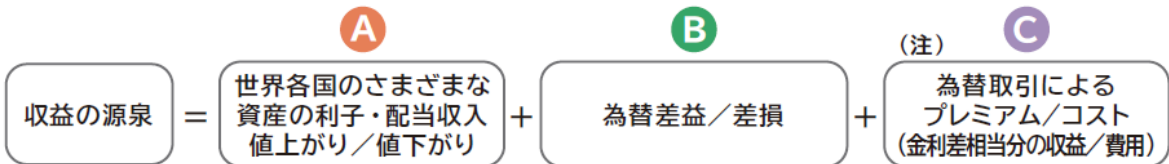
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



	A	B	(注) C
収益を得られるケース	世界各國のさまざまな資産の価格の上昇、利子・配当収入	為替差益の発生	プレミアム (金利差相当分の収益) の発生
損失やコストが発生するケース	世界各國のさまざまな資産の価格の下落 ・発行体の信用状況悪化 ・発行企業の経営不安、倒産等	為替差損の発生	コスト (金利差相当分の費用) の発生
		・円に対して取引対象通貨高 ・円に対して投資対象資産の通貨高 (「為替ヘッジなしコース」の場合)	取引対象通貨 > 投資対象資産の短期金利
		・円に対して取引対象通貨安 ・円に対して投資対象資産の通貨安 (「為替ヘッジなしコース」の場合) ※「日本円コース」を除きます。	取引対象通貨 < 投資対象資産の短期金利 ※「為替ヘッジなしコース」を除きます。

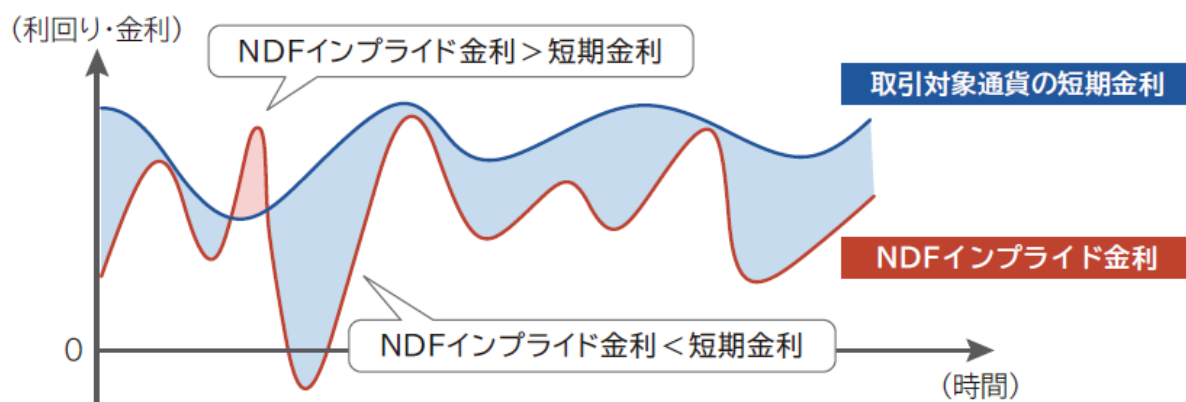
(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際に、プレミアム/コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- ◆取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き（裁定）が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。

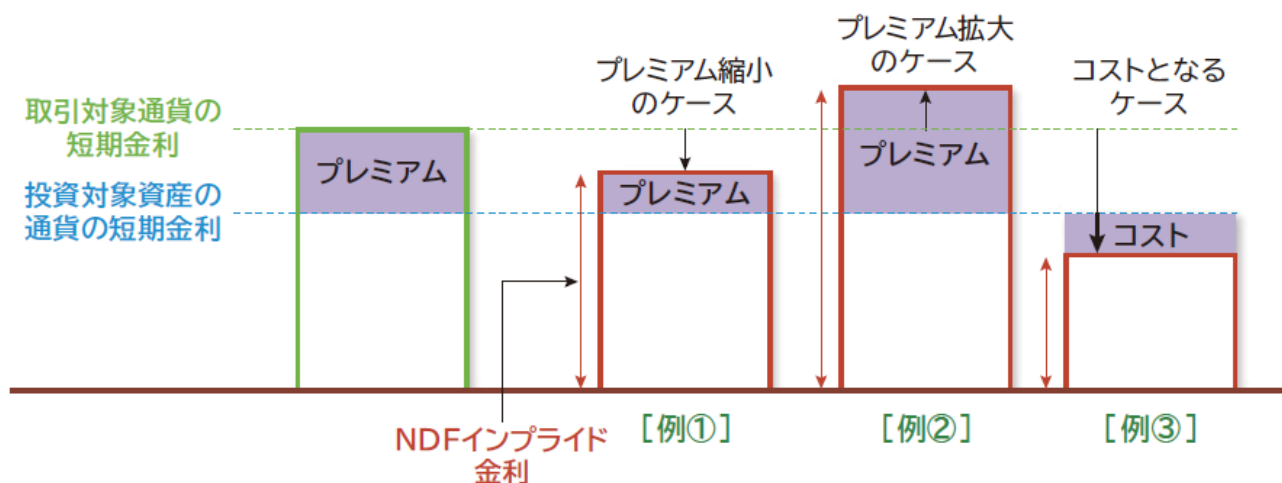
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆市場参加者の通貨上昇（下落）期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く（高く）なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く（高く）なると、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が縮小【例①】（拡大【例②】）し、場合によっては為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。
 ※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

為替ヘッジなしコース／日本円コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界各国の高配当株式や債券など、さまざまな資産に投資を行ない、機動的に配分比率を調整することで、安定した利回りを追求するとともに、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界各国のさまざまな資産に投資します。
2. 投資環境に応じて、各資産の配分比率を機動的に調整します。
3. 為替取引を活用します。

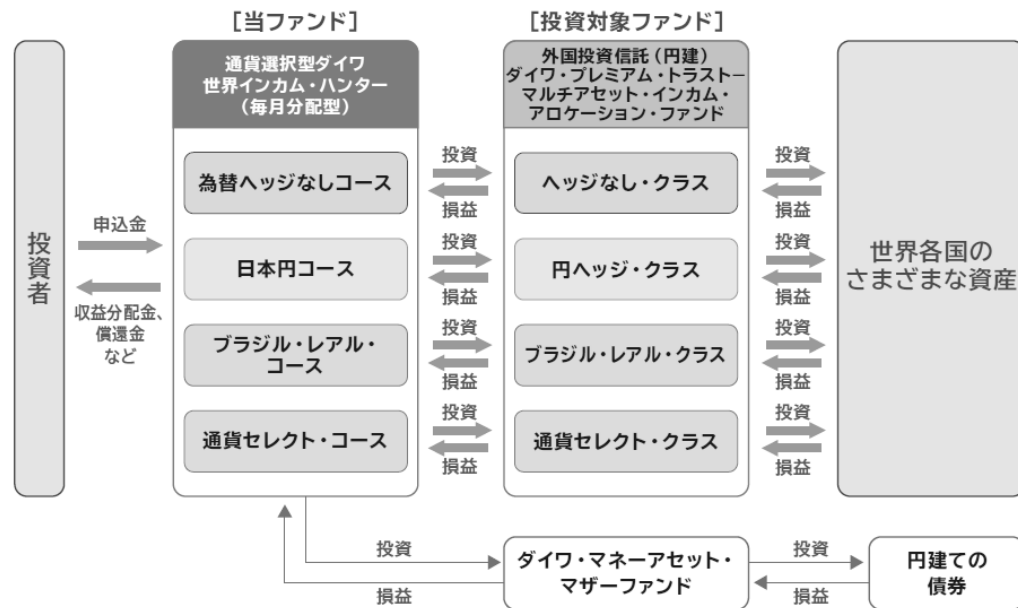
◆当ファンドには「為替ヘッジなしコース」と為替取引を行なう3つのコースがあります。



※4つのコースの間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。

4. 毎月18日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
※第1計算期間は、平成27年5月18日（休業日の場合翌営業日）までとします。
5. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

◆外国投資信託の受益証券を通じて、世界各国のさまざまな資産に投資し、「為替ヘッジなしコース」を除き、投資対象とする資産について為替取引を行ないます。



◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース：為替ヘッジなしコース

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース：日本円コース

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・リアル・コース：ブラジル・リアル・コース

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース：通貨セレクト・コース

◆各ファンドの総称を「通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク・ファンドの費用については、次頁以降をご覧ください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

為替ヘッジなしコース／日本円コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※＜為替ヘッジなしコース＞は、組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。また米ドル以外の通貨の資産にも投資を行なうため、当該資産の通貨の為替変動の影響を受けます。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

※＜日本円コース＞は、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、日本円の金利が投資対象資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

※＜ブラジル・リアル・コース、通貨セレクト・コース＞は、取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。投資対象資産の通貨の為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する投資対象資産の通貨の為替変動の影響を受ける場合があります。なお、取引対象通貨の金利が投資対象資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

※＜為替ヘッジなしコース＞以外について、投資対象とする資産の通貨のうち一部の通貨について、為替取引が困難、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、為替取引を行わない場合があるため、取引対象通貨以外の為替変動の影響を受けることがあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用については、次頁をご覧ください。

通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）

為替ヘッジなしコース／日本円コース／ブラジル・リアル・コース／通貨セレクト・コース

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限>3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.215% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
投資対象とする 投資信託証券	「為替ヘッジなしコース」・・・・・・・・・・年率 0.77%程度 「日本円コース」「ブラジル・リアル・コース」・・・・・・・・年率 0.80%程度 「通貨セレクト・コース」・・・・・・・・・・年率 0.92%程度 この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・マルチアセット・インカム・アロケーション・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額 13,500 米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、投資対象ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。	
実質的に負担する 運用管理費用	「為替ヘッジなしコース」 年率 1.985% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「日本円コース」、「ブラジル・リアル・コース」 年率 2.015% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「通貨セレクト・コース」 年率 2.135% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会